

RIFA トップページ

Koryu トップページ

English



～日本の伝統文化にふれる～

第30回異文化交流サロン

行きつ戻りつの季節もようやく春に向かいかけた3月2日(日)、中央公民館大ホールで第30回異文化交流サロンを開催しました。

タイ、ブラジル、コロンビア籍の参加者を交えた老若男女35名は菜の花、桃、スイートピーなど春を告げる花々をペットボトルを細工して作った器にそれぞれのセンスと辻 外美子(とみこ)先生の指導で華やかな作品を完成させていきました(=写真右上=)。和紙のひな人形づくりは四苦八苦大奮闘の末、男雛・女雛を折りあげ、毛せんを思わせる真っ赤な色紙に飾りました(=写真左上=)。



花々のほんのりとした甘い香り漂うなか、会員の淵田佳子さんと小田原ゆかりさんによる琴の演奏が始まりました(=写真真中=)。静まり返った会場を琴の音色が包み込み、いつもと違う雰囲気。続く'うれしいひなまつり'の演奏にあわせて大合唱が起こりクライマックスに。大切な日本の伝統行事にふれ、一足早くやってきた春を皆で味わうこと

ができました。

私たちはRIFAを応援しています



帝産グループ

ピクチャー 京阪津ツリスト

滋賀支店

滋賀県栗東市御園813-1

TEL(077)558-2555(代)

FAX(077)558-2550

大津支店 TEL(077)525-3434

八日市支店 TEL(0748)24-0555

一枚のキップから、グループ・団体旅行のご予約まで・

事務用品・OA機器

あらゆるニーズにお答えする

株式会社 宝文堂

栗東市手原四丁目2番28号

TEL 551-1111 FAX 551-2345



キューバ見てある記

旧国会議事堂にて

遠藤正子

会員の遠藤正子さんは休暇を利用して、海外あちこちを旅されるそうです。旅なれた遠藤さんの今回の珍道中はいかに・・・

予定通り早めに関空着。JALのカウンターでのチェックインにめちゃくちゃ時間がかかった。が、荷物のタグが出ず、結局LOSで再チェックインすることに。手荷物検査を受けて、いざ出国へ。という時になってメキシコのホテルのパウチャーがないのに気づく。検査場を逆戻り、再びJALカウンターへ。？ない。落し物にも届いていない。どこにも、ない！ない！

【大慌ての出国】

離陸まで20分を切っているのに、時間もない、大慌てで出国へ。飛行機が15分ほど遅れたので、なんとか間に合う。

LOSで飛行機を乗り換え、夜中の12時頃メキシコに到着、一泊する。これを利用してパウチャーをなくしたことを電話で連絡。なんとか泊まれそうで一安心。翌日キューバに向かう。ど、パウチャー発見。今までの努力はなんだったのか！！

【キューバ到着】

午後、キューバ（ハバナ市）に到着。が、ホテルを予約していなかったもので、入国が許可されない。わざわざキューバ大使館でツーリストカードをもらっているのに・・・社会主義国はむずかしい。『ここで追い返されてはなるものか』と入国審査で粘り、ホテルを予約してもらうまでに過ぎ着ける。「お金を持っているか？」の質問に、一瞬「袖の下」を要求されるのかと緊張する。ドルを持っていたが、アメリカと仲の悪いキューバのこと、追い返されるのが心配で「日本円を持っている」と答える。「そんなもの役に立たん」と言われ、「ユーロはどう？」と訊ねてみる。「見せてみる。」疑われている。前回の旅行の残りのユーロを見せて、やっとホテルを取ってもらう。ちゃんと観光に便利な旧市街を希望することを忘れない。この間停電3回。真っ暗闇の空港に悲鳴に似た叫び声。ところが、一難去ってまた一難。今度は税関で麻薬を持っていないか荷物の検査。犬にまで出勤させて、しかも私たち二人だけの、やけに丁寧に嗅ぎまわる。周りに人垣ができて、興味津々、見物物になっている。『失礼な。顔をよく見てくれ』と言いたかったが、追い返されないように黙って検査を受けた。やっと難関突破！街へ。

【いざ、街へ】

ホテルは四つ星、料金は世界並み。だが、こここのエアコンは温度の調節を知らない。一回点けたらどんどん冷える一方。切れば蒸し暑い。何年前のエアコンや・・・（この国では超一流）。夕食は、かつてヘミングウェイが通ったレストランでお目当てのロブスターを注文。まあ、なんと大きい！グロテスク！『わらじ』『みたい。いかに私でも全部は食べられず、お持ち帰りに。帰りに街を散策。呼び止められてBAR（バル・居酒屋風）に立ち寄る。楽団の人たちとワイワイ話したり、語りたりしながらしばし楽しんだ。若いボーイさんにロブスターを甘がまされて差し上げると、風のごとく消えた。



BARで出会った楽団の人たちともすっかり打解けて・・・



『わらじ、みたいなロブスター』

人々はフレンドリーで、音楽と共に明るく暮らしているが、生活は相当困窮しているようだった。帰りにメキシコに着いて、普通の見慣れたものがずいぶんきらびやかに見えた。

RIFAボランティア登録・登録更新のお願い

平成20年度はRIFAボランティア登録更新の年です。自動更新はしませんので、継続して下さる方は必ず、登録申込書をご記入の上、事務局へお願いします。（FAX可）

登録は3年毎となっております。平成20年度から平成22年度まで有効となります。新規登録は随時行っておりますので、多くの方の登録をお願いします。

- 【ボランティアの種類】 (1) 通訳・翻訳 (2) 日本語指導 (3) ホームスティ・ホームビジット
(4) 日本（自国）文化紹介 (5) その他（上記以外のもの何でも可）

スウェーデンでの1年間

）日本とスウェーデンを結ぶ架け橋のような職業に就きたい！

みゆこ
宮城 妙由子



私は2006年夏から約1年間スウェーデンに留学していました。
英語圏ではない国で、大変だったことも多々あったけれどその分、楽しいこともその倍以上ありました。最初はスウェーデン語を聞くのも初めてで生活や食べ物も日本と違い、何もかもが新しいものばかりでした。

・・・学校生活・・・

たくさんの違いの中で私が驚いたのは学校生活です。私の通っていた高校は公立の高校で町の中心部にあり1000人以上の生徒がいました。また学校の建物はとても大きくて、離れた場所にも校舎があり、最初は教室を見つけるので精いっぱいでした。

スウェーデンの高校には日本の大学のようにたくさんの学部や学科があり、入学する前に自分のしたいことや好きな学科を選ぶことができます。それにより生徒ひとりひとりが自分のしたいこと、好きなことを具体的になおかつ専門的に学んでいます。そして高校には校則というものもなく、いろんなことに対して強制ということも特にはありませんでした。また、勉強でも人と比べることは全くなく、自分の責任は自分でとりのびのびとした高校生活を送っているように思えました。

部活や学園祭などクラスみんなでする行事などがなく、クラスメート全員とかがわる時間が少なくて淋しかったです。放課後も終わる時間はクラスによって違うのでみんな最後の授業が終わればすぐに家へ帰ってしまいます。

・・・シャイなスウェーデン人・・・

留学前に本でスウェーデン人はシャイというのを読みました。いざ、留学してみると本当にシャイでした。特に若者はシャイで、最初は友達をつくるのにすごく苦労しました。日本だと当たり前のように友達を誘って一緒に遊ぶ食べたり、冗談まじりの会話をしたりしたけれど、最初の頃は言葉のわからない国で当たり前のようなことがとても難しいように感じました。



クラスメート。
2列目右から7番目が妙由子さん

・・・SKA VI FIKA(スカビ-フィカ?)・・・

これは私の好きなスウェーデン語のひとつです。日本語で「お茶をしませんか?」という意味になります。スウェーデン人はこのFIKAという時間がとても好きです。お茶をしながら世間話をし、親睦を深めます。この時FIKAにかかせないものはケーキやクッキーといった洋菓子です。

スウェーデン人は男女問わずチョコレートやアイスクリーム、ケーキといった甘いものがとにかく大好きです。アップルパイには上からカスタードクリームをどっぶりかけ、チョコレートケーキには生クリームをのせおいしくいただけます。スウェーデンの洋菓子を食べいてどれもカロリーがかなり気になる甘いものばかりでした。私は1年間に3つのホストファミリーをまわり一緒に住んでいたのですが、どのホストマザーもお菓子を作ることが好きでした。第二ホストファミリーのお母さんにケーキの作り方を教えてもらったので毎日のようにチョコレートケーキを焼いていました。



ホストファミリーとお茶を楽しむ

・・・春の訪れは アイスクリーム屋さんの長い行列で・・・

冬の間は休業しているアイスクリーム屋さんが3月下旬になると営業を再開し、それを楽しみにしていた人たちの長い行列ができます。それは長い冬を終え、これから暖かくなっていく季節の変わり目のように思えました。また、平日のお昼にベビーカーをおしながらアイスクリームを食べるお父さんの姿をよく目にしました。これは社会保障がしっかりしているスウェーデンならではの光景だと思いました。

こうして長いようで短かった月日があっという間に過ぎていき、この1年間で数えきれないほど多くの人と出会い、語

学だけではなく、たくさんのことを学べてよかったです。また、日本を外側から見つめ直し、改めて日本のよいところ、悪いところを再認識でき、今まで以上に日本文化や日本料理が好きになりました。

今後、再びスウェーデン留学を目標にして学問に励みたいと思っています。そして将来は日本とスウェーデンを結ぶ架け橋のような職業に就きたいです！

RIFA会費納入のお願い

引き続きお世話になります
ご協力よろしくお願いします

平成19年度会費未納の方、よろしくお願ひします。滋賀銀行から振り込んでいただくか、RIFA事務局へ直接お持ちいただいても結構です。よろしくお願ひします。

RIFA10周年記念事業委員会発足

会 長 岡田 明男
副会長 藤崎 聡
総務広報委員長 太田 正雄
" 副委員長 青木 秀久
文化交流委員長 中島 武彦
" 副委員長 北村 勲司
" 副委員長 中野 光一
監 事 小泉 一夫
" 高井 進

10周年記念事業委員会が発足し準備を進めています。左記役員9名と公募委員7名の計16名が任にあたります。

皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。
記念事業開催は秋頃を予定していますが、詳細は追ってお知らせしていきます。

公募委員の方々です。

梅林和美 石川輝伸 大津京子 奥村敏子 堀池優子 森眞寿弥
山口正子

お 知 ら せ

第17回滋賀県ミシガン州友好使節団員募集

- 目 的 → 滋賀県の姉妹都市ミシガン州で、ホームステイや生活体験などを通じて、アメリカの社会・文化を理解すると共に、国際理解・友好親善を深める。
- 派遣期間 → 平成20年8月19日(火)～8月27日(水)
- 派遣先 → 米国ミシガン州
- 対 象 → (原則、各市町村の姉妹都市に派遣されます)
平成20年4月1日現在、満18歳(高校生は除く)
以上の県内在住者で、健康で団体行動に支障のない人。(ただし、70歳以上の応募者は派遣に耐えられる旨の医師の診断書の提出が必要です)
- 定 員 → 45人程度(応募者多数の場合は抽選)
- 参加費 → 未定(全額自己負担。参考:前回 221,000円)
- 応募期間 → 平成20年4月1日(火)～5月15日(木)
- 応募先 → 市民活動推進課国内・国際交流係(077-551-0290)
栗東国際交流協会(077-551-0293)
滋賀県国際課(077-528-3061)

栗東市・衡陽市友好都市締結15周年記念公演

1月下旬からの中国湖南省大雪のため、急遽延期されました『友好の響演』が下記日程で開催されます。

期日:平成20年4月27日(日)

会場:さくら大ホール

主催:栗東市文化体育振興事業団

共催:栗東市・栗東市教育委員会

後援:栗東国際交流協会ほか

問合せ:友好の響演係

Tel 077-551-0318

》チケット発売中《



《春夏秋冬》

栗東市は1976年からパーミンハム市と姉妹都市提携をしています。

体験ませんか
もう一つの家族と過ごす夏

RIFA日本語教室で日本語を学んでおられる外国の方にはいつも敬服します。もし私が逆の立場だったら・・・今まで接したことのない言語環境の中で、日常会話をはじめ仕事や買い物、学校からの通知、地域の回覧板などとても理解できるものではありません。日本語で片言でも受け答えができるレベルになるまでには相当な努力をされたのだと思います。外国語をマスターするヒントがRIFA日本語教室にはあるような気がします。一度見学にいらっやいませんか? (H.A)